

「企業におけるグローバルビジネスの展開及び知的財産戦略」

◆パネリスト

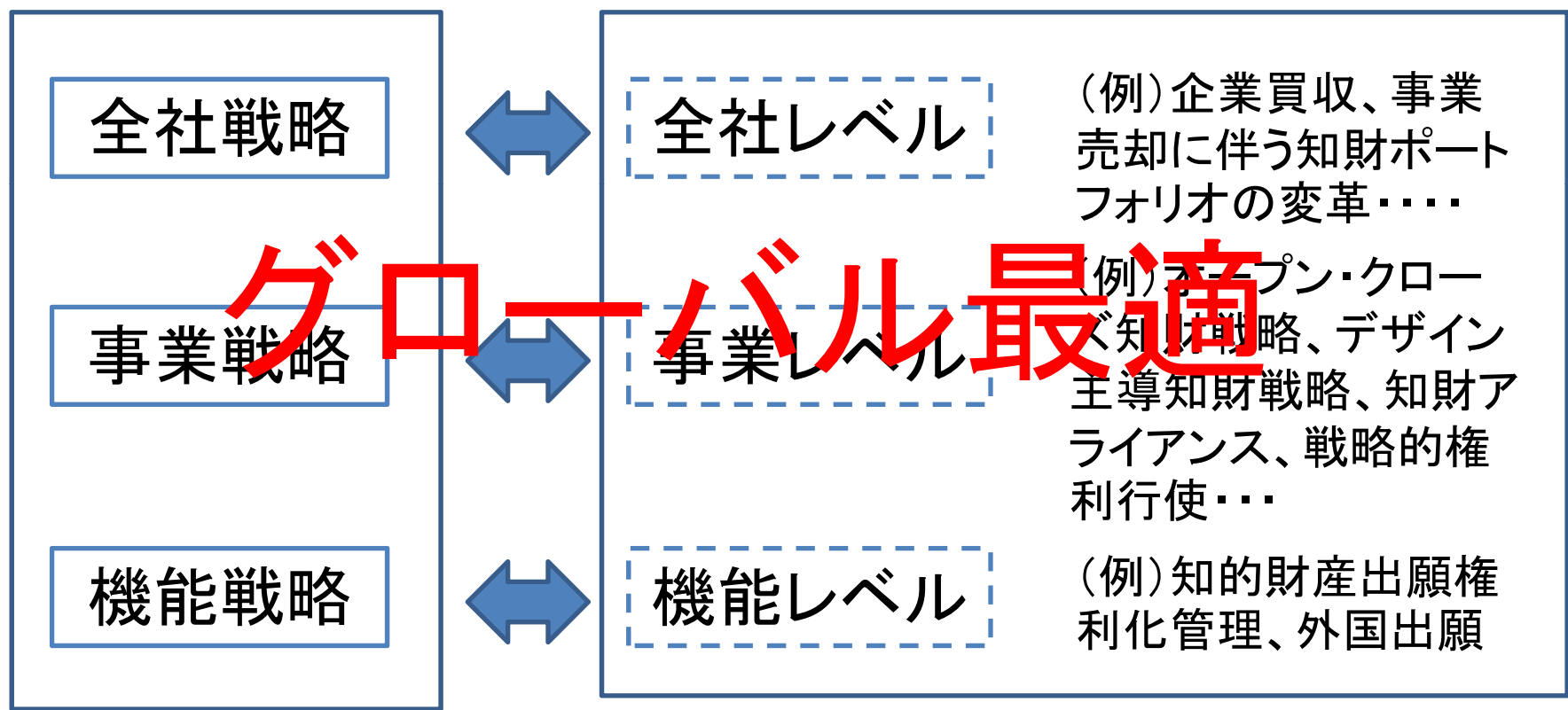
- ・鈴木俊昭 富士フィルム(株)参与・知的財産担当
- ・戸田裕二 (株)日立製作所、知的財産権本部 副本部長 兼 知財開発本部長
- ・沢俊裕 (株)安川電機代表取締役 専務執行役員 技術開発本部 本部長
- ・峯木英治 (株)ブリヂストン知的財産本部長

◆モデレーター

- ・渡部俊也 東京大学政策ビジョン研究センター 教授

経営戦略

知的財産マネジメント



<トピック1> 事業戦略レベルの知財管理

- 「事業を強くするための知財管理」の視点から見たグローバル知財管理のポイントは何か

<トピック2>

全社戦略レベルの知財管理

- 事業再編、新規事業、ビジネスモデル改革やM&Aの際に求められる知財部門の役割とは？

<トピック2>

営業秘密管理グローバル最適

- グローバル環境下における営業秘密管理のポイントとは

まとめ

グローバル最適な全社戦略・事業戦略を目指して

- 全社戦略・事業戦略の目線で「グローバル最適」な知財戦略を計画・実行すること(各社)
- 社会イノベーション事業戦略における知財戦略のグローバル最適(日立製作所)
- 第二の創業のグローバル展開のための知財戦略グローバル最適(富士フイルム)
- グループグローバル統一の全体最適(ブリヂストン)
- オープンクローズ知財戦略のグローバル最適&グローバル経営ミックスを前提とした知財戦略のグローバル最適(安川電機)

知財マネジメントのグローバル最適のポイント

1. グローバル視点での知財ポートフォリオ最適(事業再編、M & A): 富士フィルム、日立製作所、安川電機・・・
2. グローバル視点での知財組織最適: ブリヂストン(人事、IT部門などとの連携等)、安川電機、日立製作所(現地知財オフィス)・・・または、グローバル視点での各地域機能(研究開発、製造、販売)と連携する知財システム最適: 富士フィルム、ブリヂストン(海外TCの知財の取り扱い)・・・
3. グローバル視点での知財権ミックス最適(特許、意匠、商標他の最適取得戦略と活用): ブリヂストン(中国での権利行使、重畳的保護)・・・
4. 模倣品対策や営業秘密管理も、地域ごとの体制が必要、ブリヂストン、安川電機(情報共有の仕組み、商標模倣)・・・